

第3回とちぎのおもてなし向上検討会議【要旨】

平成28年12月8日

栃木県産業労働観光部観光交流課

1 日時

平成28年11月1日（火） 14時00分～16時00分

2 場所

県庁北別館401会議室

3 出席者

【委員】

相田公司委員、江島玉華委員、岩崎正明委員、神山和美委員、癸生川亘委員、
島田昌司委員、関口淳委員、直井修一委員、永井洋之委員（県産業労働観光部参事）、
鉢村敏雄委員、坂東哲夫委員、福田泰子委員、森島一委員、若色潤委員、
東日本旅客鉄道株式会社大宮支社営業部 成瀬宏孝 氏（雨森委員代理）、
日光市観光部観光振興課 斎藤和義 氏（川村委員代理）、

【県】

鈴木英樹観光交流課長 外

4 議事（抄）

（1）開会

（2）産業労働観光部参事あいさつ

（3）議事

① とちぎのおもてなし向上運動の方向性や展開について

- ・事務局から資料1について説明を行い、各委員の御意見を伺った。
- ・資料1の3ページから6ページにとりまとめた「おもてなし向上運動の方向性や展開について」について、委員から了解が得られた。
- ・委員から以下のような意見があった。

■資料1（3～6ページ）「おもてなし向上運動の方向性や展開について」について

- ・継続するためには、おもてなしを日常生活と結びつけることが大切。
- ・全県的かつ長続きするような取組が必要。
- ・異業種も含めた、目に見えるおもてなしの取組を考えてみてはどうか。
- ・DCで来ていただいた方々には、栃木の良さを知らない人に広げてもらい、また来てもらうための取組が重要。
- ・福島県の事例のように共通の缶バッジをつけることで一体感が生まれると思う。

- ・認定ドライバー制度等を設けることで意識が向上し、スキルアップできるのではないか。

② おもてなしの向上を目指す条例について

- ・事務局から資料2について説明を行い、各委員の御意見を伺った。
- ・委員から以下のような意見があった。

■資料2（2ページ）「おもてなしの向上を目指す条例について」について

- ・とちぎらしさをいかに出すかがポイントだと思う。
- ・おもてなしの具体的なイメージが湧くような事例集などがあるといい。

以上